

「子ども読書の日（4月23日）」の取組



学校名（ 生駒市立生駒中学校 ）

実施日・実施期間

平成30年4月18日～4月27日

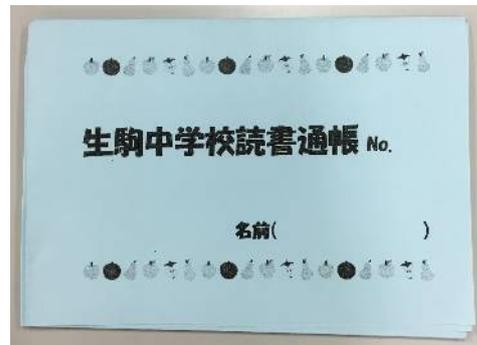
実施内容

タイトル「 図書館開き 」

4月18日に図書委員会を行い、1～3年生の図書委員が集まって今年度どのように運営していくか、どんな取り組みをするかなどを話し合った。多くの人に図書室を利用してもらうために、毎月図書館通信を発行したり、放送で呼びかけたりすることになった。

1年生の生徒を対象に生駒中学校の図書室の紹介と利用の仕方をクラスごとに行った。図書館のルールを確認したり、本の分類番号についても説明を受け、実際に本を探したりした。その後、気に入った本を1人1～2冊借りた。

今年度より、「読書通帳」をすべての生徒に配布し、生徒の読書活動の推進を図っている。



2学期より、一日の学校生活の中に読書の時間を位置づけ、本に慣れ親しむ取組を行う予定。

冊数	書名	タイトル	著者名	本の数	メモ
1				☆☆☆	
2				☆☆☆	
3				☆☆☆	
4				☆☆☆	
5				☆☆☆	

児童生徒の様子

図書委員会では、読書活動の推進に向けて、活発な意見交換が行われていた。1年生への図書室の紹介は、利用できるのをとても楽しみにしてくれている様子であった。初めての図書室で本を選んでいるときは、本当にうれしそうな生徒が多かった。

備考

「子ども読書の日（4月23日）」の取組

学校名（ 生駒市立生駒南中学校 ）



「子ども読書の日（4月23日）」の取組

学校名（ 生駒市立生駒北小中学校 ）



実施日・実施期間

平成30年 4月23日 ～ 5月12日

実施内容



（カウンター）



タイトル「読書タイム・学びタイム」

子ども読書週間の期間中、小・中学校ともに2冊貸出を行った。また、図書室カウンターには、子ども読書週間のコーナーを作った。

◆図書の時間（小学校）

子ども読書週間が始まる前に、1年生の図書の時間が始まった。自分で本を1冊選んで借りることができるようになる。読み聞かせの時間もあり、みんなで1冊の本を楽しむ。

期間中に、1年生はあさがおの種をまいた。それに合わせて、「あさがお」という写真絵本を読み聞かせている。実際の成長と同じページを読み進めていく。

◆ブックリスト配布（小1・小4・中1）

生駒市図書館発行のブックリストを、対象学年に配布した。

小学校では図書の時間に、司書がブックリストに掲載されている本の読み聞かせや紹介をした。



◆読書タイム（小学校）

6月の朝の読書タイムに、図書委員の5・6年生が1～3年生に大型絵本などの読み聞かせを行う。

◆学びタイム（中学校）

今年度から、昼の学びタイムを使って学年ごとに図書室で読書をしている。

児童生徒の様子

本校は、小中学生が同じ図書室を利用するため小中の垣根がなく、蔵書数も多いので、いろいろな本との出会いの場となっている。

図書室が小1～6年生の教室と同じ階に位置し、どの学年からも来やすい場所にあるため、休み時間に図書室に来る児童が多い。また、小学校も休み時間が10分なので、そのわずかな時間に図書室で読書をしたり、本を借りたりする児童も見られる。1年生も、図書室にすっかり慣れたようだ。

備考

「子ども読書の日（4月23日）」の取組

学校名（ 生駒市立緑ヶ丘中学校 ）



実施日・実施期間

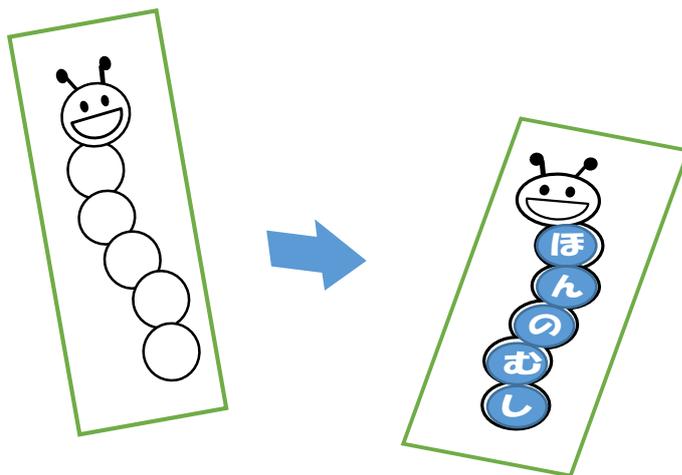
平成30年 4月 23日～ 4月 27日

実施内容

タイトル「本との出会いを図書館で」

図書館において、1年生に図書館ガイダンスを実施しました。最初に『子どもと家庭のための奈良の民話』（奈良の民話を語り継ぐ会）より『犬と笛』の朗読を行い、合わせてこの民話を元にした芥川龍之介の作品が収録されている『羅生門・杜子春』（岩波少年文庫）を紹介しました。

その後、しおりを使って図書館の使い方や図書館の本がどのように分類されているかを司書が説明しました。図書館のマナーを学ぶクイズなども行いました。生駒市立図書館作成の中学生向けガイドブック「本よもガイド」の紹介と配布し、残りの時間で本の閲覧と貸出を行いました。



「ほんのむしカード」

さらに、全学年に向けて「図書館スタンプラリー」を実施。図書館にて「ほんのむしカード」を配布、本を1回借りると1つスタンプを押します。5つスタンプを集めると「ほんのむし」の完成です。

児童生徒の様子

中学校の図書館に興味を持ち、閲覧や貸し出しを積極的におこなっていました。図書館に対してのハードルが低くなり、身近な存在としていつでも気軽に入ることができるものとなっています。

また、司書がおこなった「奈良の民話」を食い入るように聞き、芥川龍之介の本を読む生徒もいました。

後日の図書委員会において、本年度の活動方針を「学年関係なく気軽に来られる図書館にする。」とし、活発な図書館の活動になると予想される。

「子ども読書の日（4月23日）」の取組

学校名（ 生駒市立鹿ノ台中学校 ）



「子ども読書の日（4月23日）」の取組

学校名（ 生駒市立上中学校 ）



実施日・実施期間

平成 30 年 4 月 18 日～5 月 7 日

実施内容

「1年生図書館オリエンテーション」

* 1年生 6クラスに図書館オリエンテーションを行った。貸出カード、図書館利用案内リーフレット、生駒市図書館ブックリスト「中学生本よもよもリスト」の3点を配布し、学校図書館の利用の仕方、日本十進分類法（NDC）と、それに従って配置されている図書館内の資料について説明を行った。授業の最後には自由に図書館内を見てもらい、図書の出借を行った。

「図書委員の選書による学級文庫の貸出」

* 各クラスの図書委員がクラスメイトに読んで欲しい本を各 10 冊選定し、学級文庫として設置した。

「図書館便りの配布」

* 平成 30 年度子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受けたことを報告し、今後もルールを守った利用や、みんなからの意見・リクエストが魅力ある学校図書館を育てることになると伝え、協力を呼びかけた。また、新しく入った本、特集展示「図書委員が選ぶジャンル別おすすめ本!」「いくぜ、〇〇! 校外学習・修学旅行に関する本」「知っておこう憲法のこと 5月3日は憲法記念日」「1年生国語教科書『本の世界を広げよう』にのっている本」などについてお知らせをした。

児童生徒の様子

図書館オリエンテーションの際は各生徒積極的にいろいろなジャンルの本を選んで借りて行った。予約やリクエストの利用も多く、文学賞を受賞した本など世間で話題になっている本についてよく知っている生徒もいるようだった。オリエンテーション後も生徒はよく来館しており、週1回の朝開館の日もたくさんの利用・貸出が続いている状態である。

学級文庫は昨年度に比べ各クラス 18 冊→10 冊に減らしたが、その分、図書委員は様々なジャンルから良い本を厳選し、納得した様子で各クラスに持参していた。

備考

「子ども読書の日（4月23日）」の取組



学校名（ 生駒市立光明中学校 ）

実施日・実施期間

平成30年 4月 24日～ 4月 25日

実施内容

タイトル「図書室オリエンテーションとミニブックトーク」

- ① 今年度入学してきた新一年生に対して、図書室の使い方と本の配置について説明した。NDCに基づいた分類ごとの配架の説明、具体的な蔵書の案内をする。その他、特集コーナーの案内をする。

実際に紹介した本

- 0類 「もし文豪がカップ焼きそばの作り方を書いたら」
- 1類 「スヌーピーの人生案内」「君たちはどう生きるか」
- 2類 「歴史 REAL 西郷隆盛」
- 3類 「日本の妖怪大図鑑」
- 4類 「ざんねんないきもの事典」
- 5類 「井本」
- 7類 「イチローの少年時代」

- ② 生駒市図書館の発行する「中学生本よもよもガイド」全員に配布し、ガイドにある本を3冊紹介するミニブックトークを実施

実際に紹介した本

「王への手紙」「ジーキル博士とハイド氏」「聊斎志異」

- ① ②を併せて25分～30分くらいで行う。各クラス国語の授業一限ずつ時間をもらい、残りの時間は図書室での読書と貸出を行った。

児童生徒の様子

ミニブックトークは比較的興味を持って聞いてくれたように思われるが、オリエンテーションでの分類の説明はクラスによってはザワザワすることもあった。紹介した本も含め、貸し出しは増えた。

備考

「子ども読書の日（4月23日）」の取組

学校名（ 生駒市立大瀬中学校 ）

